



学生のための  
政策立案コンテスト  
2018

Lチーム政策案

健康的な食事提供による食  
環境の整備

GEIL

# 理想状態/現状分析/問題領域特定

## ・理想状態

一世代のうちに健康格差が是正された社会

## ・思考のプロセス

所得が低ければ低いほど、健康に関して無関心になる関係がある。

↓  
無関心だと不健康になる。

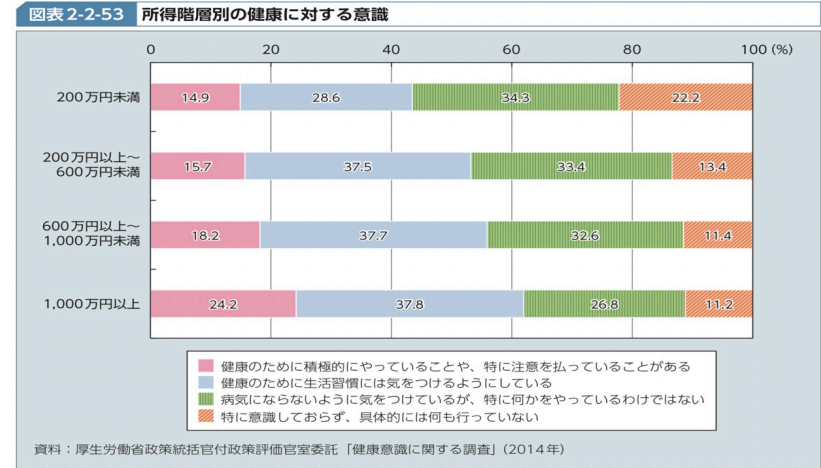
↓  
所得に起因して不健康になるのであるから、これはmissionの想定する健康格差といえる。

↓  
所得の差によって健康状態に差が生じないようにすれば、健康格差を是正したことになる。

↓  
ライフコース疫学的視点から、および一世代のうちに格差を是正するという理想状態から、こども(未就学児を想定)を取り巻く環境に介入するのが効率的である。

↓  
食が最も健康状態の悪化に結び付く。

↓  
食に関する無関心にアプローチすべきだ。



# 政策の概要

概要: 健康的な食事提供

目的: 栄養豊富な食を、親が子に自律的に作れるようにするきっかけ作り。

目的を達成した際の効果: 健康的な食習慣が確立され、所得格差による健康状態の格差が是正される。

# 政策の詳細

- ①対象：幼稚園等に通う子を持つ親（低所得者層を有利にするため負担に大幅な傾斜）
- ②資金負担：参加者と行政の補助金
- ③情報の周知方法：紙面配布
- ④情報の内容
- ⑤作り手：民間の配食センター

※各項目の意図は次頁以降の対応する項目を参照

# 政策の各項目の意図

## ①対象

年齢層については、「現状分析/問題領域特定」のページを参照。

政策を実施するにあたっては、本政策はポピュレーションアプローチ的側面が強いため、本政策を必要としている人（具体的に我々は共働き世帯、片親世帯を想定）に届くようにという点に最大限の配慮を払い策定されている。

## ②費用負担

食材代は参加者負担、それ以外の人件費は自治体の補助金。本政策の目的は、「栄養豊富な食を、親が子に自律的に作れるようにするきっかけ作り」である。ここでいう自律的とは、将来的に親が他に頼らないということである。そうした際に、いくら健康的な食事でも、費用面で負担は大きな障害となる。そこで、もし、補助金等で食材代を本来市場で買う価格よりも安くしても、実際にその料理をつくるとなった際にそれよりも高い値段が提示されれば、それは負のインセンティブとして働くだらう。故に食材代は参加者負担となっている。

念のため、費用は可能な限り低くなるように留意して献立が策定されるものであると付言しておく。

# 政策の各項目の意図

## ③情報の周知方法

食事を実際に作るためには、勿論レシピ等の作り方を知らなくては作ることにはできないのでこれを教える必要がある。これにおいて、紙面配布としたのは次に述べる民間企業のインセンティブとつながる。

## ④情報の内容

提供される食事がどのように健康に良いのかを周知することで、食育を図るという意図がある。

## ⑤作り手

本政策は、主に夕食提供を想定しているが、多くの配食センターは昼の営業がメインであるという点、調理される料理も健康に重きをおいたやや特殊なものであるという点、この二点により、融通が利く機関に作成してもらう必要がある。

そこで民間企業を活用することになったわけだが、民間企業は自社の利益がないと実施してくれない。そこで、上で述べた配布される紙面の裏に、排他的な広告掲載を認め、それによりインセンティブを図ろうという意図がある。

